

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	精神保健福祉人材養成等研修事業	担当部局庁	障害保健福祉部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	障害福祉課地域移行・障害児支援室	内山 博之 福田 祐典			
会計区分	一般会計	施策名	障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備し、障害者の地域における生活を支援するとともに、自殺対策を推進す				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会報告書 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	A.精神障害者の地域生活への移行及び地域生活を支えるための適切な在宅医療の提供を確保を図る。 B.発達障害に関する専門的知識を有する人材を確保するよう務めるとともに、発達障害に対する理解を深め、及び専門性を高める C.依存症回復施設の質を担保し、依存症への対応力を一層強化する。 D.精神保健福祉士養成担当職員の資質向上を図る。 E. 依存症者を支える家族関係についての理解や依存症に関する正しい知識の習得等を図る						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	A.地域での精神科訪問看護等(アウトリーチ)による支援技術に関して、指導的な役割を担うことができる看護職、精神保健福祉士、作業療法士等の人材の養成を目的に研修事業を実施する。 B.国が指定した施設において、発達障害児(者)への専門的な支援を行う発達障害者センター職員等を対象とした実地研修を実施する。 C.依存症回復施設職員に対する研修事業を実施する。 D.大学等の実習・演習担当教員及び実習施設の実習指導者の資質向上を目的として、講習会及び特別研修事業を実施する。 E. 依存症者を支える家族関係についての理解や依存症に関する正しい知識の習得・理解のための研修事業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算			65	61	56
		補正予算					
		繰越し等					
		計			65	61	56
	執行額			31			
執行率(%)			48%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	精神保健福祉分野の職員の質の向上 (数値計測困難)	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研修の回数・・・訪問看護研修 依存症研修 精神保健福祉士研修 実施施設数・・・発達障害者支援者実地研修	活動実績 (当初見込み)		—	—	23 (24回) (6施設)	— (24回) (6施設)
単位当たりコスト	A 1,400,000 B 4,000,000 C 1,176,471 (円/研修回数)	算出根拠	A 訪問看護研修 実績額=7百万円、研修回数=5回 B 依存症研修 実績額=4百万円、研修回数=1回 C 精神保健福祉士研修 実績額=20百万円、研修回数=17回				
平成23・24年度予算内訳		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	依存症回復施設職員研修事業費	4	4	—			
	精神保健福祉士養成担当職員研修事業費	29	29	—			
	精神科訪問看護従事者養成研修事業費	7	8	研修実施箇所数の増加により増額を行った。			
	発達障害者支援者実地研修事業費	22	11	昨年度の執行状況を踏まえ、発達障害者支援者実地研修の回数見直しによる縮減を行った。			
	依存症家族研修事業費	—	4	新規事業			
計	62	56					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	発達障害者支援者実地研修については、研修施設を公募により指定し、研修の準備を行ったところであるが、公募選定に時間がかかり、受講者への周知が遅れたことにより、受講者の日程確保が困難となり、研修受講者が集まらず、実績が上がらなかったものである。今後は早期の手続きを進めるとともに、研修期間等について、研修が受講しやすいように改善し実施する予定である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業計画において事業内容、経費の支出予定等を確認のうえ交付決定を行い、事業終了後の実績報告により最終確認を行い、確定額を精算払いしている。</p> <p>今後も予算の執行状況等を踏まえつつ、施策の推進に必要な予算の確保を行う。</p> <p>なお、発達障害者支援者実地研修については、活動実績を踏まえ、研修期間等の必要な見直しを行うこととしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>精神保健福祉人材養成等研修事業については、昨年度実績において予算と執行の乖離が生じており、その要因等を精査し、予算を縮減すること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>昨年度の執行状況を踏まえ、精神保健福祉士養成担当職員研修の経費見直しや発達障害者支援者実地研修の回数見直しによる縮減を行った。</p> <p>(反映額: ▲11百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
31百万円

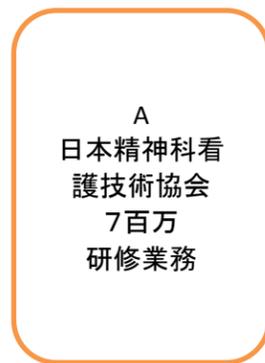
事務概要:A.地域での精神科訪問看護等(アウトリーチ)による支援技術に関して、指導的な役割を担うことができる看護職、精神保健福祉士、作業療法士等の人材の養成を目的に研修事業を実施する。

B.依存症回復施設職員に対する研修事業を実施する。

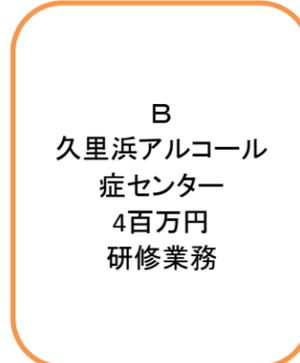
C.大学等の実習・演習担当教員及び実習施設の実習指導者の資質向上を目的として、講習会及び特別研修事業を実施する。



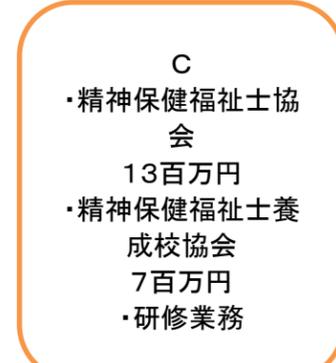
(公募・補助)



(公募・補助)



(公募・補助)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.日本精神科看護技術協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師旅費	3			
報償費	講師謝金等	2			
使用料及び賃借料	会場代	1			
その他	賃金、消耗品費等	1			
計		7	計		0
B.久里浜アルコール症センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	印刷製本費、賃金 等	2			
旅費	講師旅費	1			
報償費	講師謝金	1			
計		4	計		0
C.精神保健福祉士協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師旅費	4			
委託費	発送、入力業務	3			
役務費	賃金、消耗品費等	2			
使用料及び賃借料	会場代	2			
その他	印刷製本費、賃金 等	2			
計		13	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本精神科看護技術協会	精神看護従事者向けの研修事業	7	—	—
2					
3					
4					
5					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	久里浜アルコール症セン	依存症回復施設職員研修事業	4	—	—
2					
3					
4					
5					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	精神保健福祉士協会	精神保健福祉士制度に係る実習指導者研修事業	13	—	—
2	精神保健福祉士養成校協	精神保健福祉士制度に係る教員研修事業	7	—	—
3					
4					
5					